



ワークショップ「木造りの技術」

教員特別研究（重点目標研究）成果報告書 | 配分研究費：850千円（平成30年度）

デザイン教育における伝統建築・伝統工芸の位置づけに関する研究

目的・概要

＜目的＞ 本学デザイン教育における伝統建築・伝統工芸の位置づけについて研究し、匠と協働の現代・未来のデザイン（建築・デザイン）を創造する教育プログラムを考案する。

＜概要＞ 「匠（技能者）の技を深める研究」と「デザイナーの技術を広げる研究」さらに両者を「つなぐ研究」を重視して実践的に行う。具体的には匠の技の実演を通して、本学デザイン教育の在り方や匠の技の記録・分析を行う。

期間

平成30年5月1日～平成31年3月31日

研究担当者

文化・芸術研究センター	講師	新妻淳子（研究代表者）
デザイン学部 デザイン学科	教授	伊豆裕一
デザイン学部 デザイン学科	教授	山本一樹
デザイン学部 デザイン学科	准教授	岩崎敏之
デザイン学部 デザイン学科	講師	天内大樹

スケジュール

随時	匠領域開始に向けた教育内容・設備の検討と準備
平成30年8月6日	学内ワークショップ「大工技術ははじめの一步」開催
平成30年10月20日	匠公開講座「匠とデザイン」第1回木の匠開催
平成30年12月8日	匠公開講座「匠とデザイン」第2回染織の匠開催
平成31年2月2日	東京藝術大学卒業・修了作品展見学

研究成果

1. 匠領域授業準備
 - 1-1 工房整備と工具・用具の選定
 - ・大工実習場（構造実験室内）の整備・大工技術演習用道具の選定
 - ・金属工芸用工具の選定
 - 1-2 ワークショップの開催
 - ・「大工技術ははじめの一步」講師：飯田英夫・月原光泰
 - ・・・・大工技術（入門）実技指導と大工作業台の制作
 - 1-3 匠公開講座「匠とデザイン」の開催
 - ・第1回「木の匠」
 - 公開講義「伝統建築の美と技、そして未来へ」
 - 講師：藤井恵介（東京藝術大学客員教授・東京大学名誉教授）
 - 特別展示「木の匠展」
 - ・・・展示計画・実習（学芸員養成課程「博物館資料論」と連携）
 - ワークショップ「木造りの技術」講師：飯田英夫・月原光泰
 - ・・・映像記録作成、大工・研究者・デザイナーの協働に関する研究
 - ・第2回「染織の匠」
 - 公開講義「「染色とは？」から古代伝統染色・茜色まで」
 - 講師：加藤良次（横浜美術大学教授）
 - ワークショップ「染織の技術―浜松注染そめー」講師：二橋染工場
 - ・・・映像記録作成
2. 伝統工芸教育調査
 - ・東京藝術大学卒業・修了作品展における学生作品の調査
3. 伝統建築・伝統工芸に関する研究推進

『静岡文化芸術大学研究紀要 vol.19』2018

伊豆裕一「大学教育における伝統工芸とデザイン」

新妻淳子「明治維新前後の駿府における工匠に関する研究」



ワークショップ「染織の技術」

今後の研究成果の
還元方法

1. 匠領域における教育の開始（2019年度）
 - ・日本伝統建築（実物を通して日本伝統建築を理解する）
 - ・基礎演習F（日本の意匠から図案を創出し、伝統技法で表現する）
 - ・テキスタイル概論
 - ・木のデザイン
2. 工房の整備
 - ・染色工房の整備・木彫工房の整備
3. 公開講座の開催
 - 前期公開講座「匠とデザイン」（全2回）（2019年7月開催）
4. ワークショップの開催（全2回、2019年度後期開催予定）
5. デザイン教育における伝統建築・伝統工芸の技術継承と協働に関する研究推進